



令和3年産米の作柄と品質の概況

令和3年産水稲の予想収量と作況指数(9月25日現在)が公表されました。滋賀県の予想収量は10aあたり520kg(前年産に比べ11kg増加)で、作況指数は100となり「**平年並み**」となる見込みです。

滋賀県の作況指数 (9月25日現在)

【滋賀県】

- 10a当たりの予想収量520kg(前年差+11kg)
- 作況指数: 100

【湖北】

- 10a当たりの予想収量502kg(前年差+10kg)
- 作況指数: 100

【湖南】

- 10a当たりの予想収量528kg(前年差+11kg)
- 作況指数: 100



近年の湖北地域の作況指数

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年
102	102	97	100	104	100	99	98	98

全国の作況指数は100で「平年並み」

北海道と東北では全もみ数が平年以上に確保され、登熟も順調に推移し「良」「やや良」となっています。

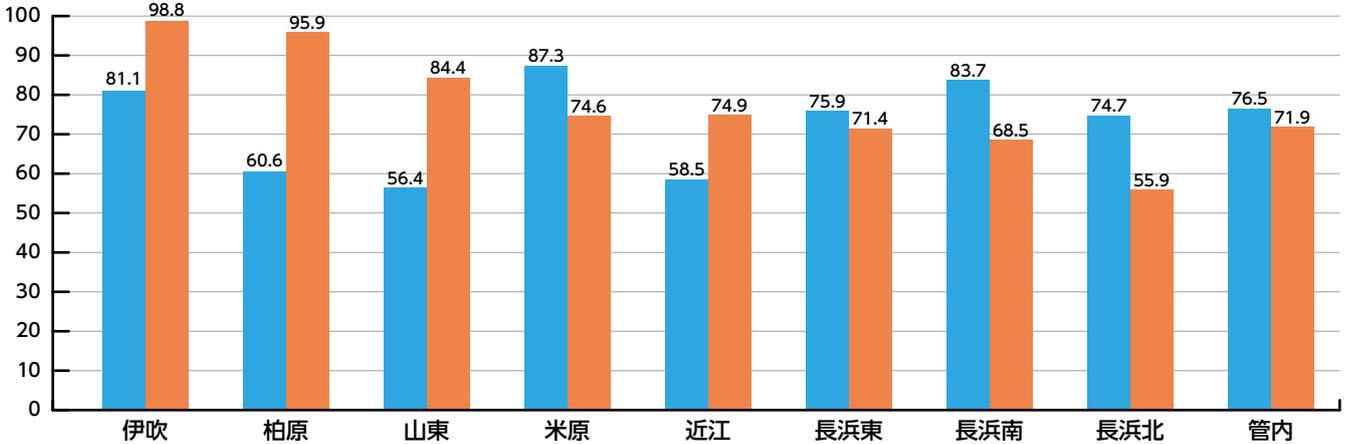
作柄概要

- 5月中下旬及び6月下旬～7月上旬の日照不足等により分けつが抑制され、茎数が少なく経過したが、7月中旬～8月上旬の天候に恵まれ茎数が確保された。
- 品質については、概ね良好であったが、8月中旬からの低温、日照不足の影響で早生品種の一部の地域では除青未熟粒・乳心白粒がみられ品質が低下した。
- 病害虫では、8月中旬からの低温、日照不足の影響でいもち病の発生が見られた。

米検査状況(地場集荷分 9月30日現在)

地域別コシヒカリ1等比率

■令和2年 ■令和3年



2等以下の格付と主な要因(上位)

格付種類	種類解説	要因
除青未熟粒	充実の不十分な粒で、玄米の厚みが薄く、縦溝が深い。歪みや変形したもの。	<ul style="list-style-type: none"> ●籾数過多 ●登熟期の稲体の活力低下
乳白・心白粒	胚芽部分に白色不透明な部分がある。部分的にデンプン供給不足で発生。	<ul style="list-style-type: none"> ●登熟初期の高温・日照不足 ●籾数過多 ●登熟初期の稲体の活力低下
胴割粒	米粒に亀裂がある。	<ul style="list-style-type: none"> ●出穂後の10日間の高温 ●早期落水・刈遅れ

